

乳がんについて

JCHO 宇和島病院 外科 (賀古町) 日前 敏子



乳がんは、小さいうちに見つけると、治る可能性の高い病気です。

乳がんが進行するとリンパ節や骨、肺、肝臓など、乳房以外の臓器にがん細胞が転移して、さまざまな症状を引き起こしたり、命を脅かしたりするようになります。

女性の乳がんは、30歳代から増加し、40歳代後半から50歳代前半でピークを迎え、その後は次第に減少します。男性乳がんの罹患率は女性乳がんの1%程度といわれています。我が国では、一生のうちにおよそ12人に1人が乳がんと診断されると言われています。

乳がんの発生には、女性ホルモンエストロゲンが深くかかわっていることが知られています。体内のエストロゲンが多いこと、また、体内エストロゲンを加える経口避妊

薬の使用、閉経後のホルモン補充療法は乳がんの発生する危険性を高めます。また、初経年齢が低い、閉経年齢が遅い、出産経験がない、初産年齢が遅い、授乳経験のないことが乳がんの発生する危険性を高めます。生活習慣に関しては、飲酒、閉経後の肥満、身体活動度が低いことが乳がんの発生する危険性を高めます。そのほかには、第一親等で乳がんになった血縁者がいる、乳房の良性疾患にかかったことがある、マンモグラフィで高濃度乳房である、身長が高い、放射線による正常細胞への障害があることが、乳がんの発生する危険性を高めます。

乳がんが見つかるきっかけとしては、マンモグラフィなどによる乳がん検診を受けて疑いを指摘される場合や、あるいは自分で症状に気付く場

合などが多いようです。自分で気付く症状としては、乳房のしこり、乳房のえくぼなどの皮膚の変化、乳頭の先から血の混じった分泌液が出る、乳房周辺のリンパ節の腫れなどがあります。

乳がんは早期発見により適切な治療が行われれば、良好な経過が期待できます。しこりなど自覚症状がある場合は速やかに受診することをお勧めしますが、無症状の場合でも、乳がん検診によりがんが見つかることがあります。日ごろから、入浴時などに自分で触診し、しこりがないかどうか見ておくこと、乳がん検診を受けることが早期発見につながると考えられます。

乳がんは早期発見により適切な治療が行われれば、良好な経過が期待できます。しこりなど自覚症状がある場合は速やかに受診することをお勧めしますが、無症状の場合でも、乳がん検診によりがんが見つかることがあります。日ごろから、入浴時などに自分で触診し、しこりがないかどうか見ておくこと、乳がん検診を受けることが早期発見につながると考えられます。

乳がんが見つかるきっかけとしては、マンモグラフィなどによる乳がん検診を受けて疑いを指摘される場合や、あるいは自分で症状に気付く場

牛鬼句会

いそしぎ句会

吉田短歌会

余暇のひととき

かたち良き蜜相作らむと農薬に頼れば蜜ひとつ見ぬ村
加賀山 愛

籠台に頼杖ついて思うこといとしき人の遠き
長谷ミツル

眼差し
去年の夏豪雨にあふれし陣屋川若葉うつして
岡田 幸子

水無月の風の湿りに触るるたび去年の豪雨を
伊豫路たく磨

善提寺の裾に青田の広がれり
片山智恵子

春野町の疎水あぢさるロードかな
佐々木咲子

昼寝して我が人生は平和なり
佐々木たけし

梅雨の山見つめてをれば軒霽
村尾 昭子

街灯がみかんの形走り梅雨
毛利 晴美

梅雨荒れて稲の中干出来ぬまま
薬師寺徳子

手を打てばさわがしくなる金魚鉢
山本 信枝

千竿にシートはためく梅雨晴間
渡辺 正子

葉桜や砂場に厭きて滑り台
平岡千代子

去年の実を付けしままなる花みかん
池田香代子

洋館の窓に四葩と人形と
井上 園子

気象予報士先駆けて更衣
大村 たか

樗咲く広き川原に子ら野球
坂本扶美子

杏子熟るる伊達家古文書研究所
高島 光子

地四国の茂りの下の磨崖仏
中浦ミエ子

芽花流し長屋門まで坂つづく
水野 幸子

舟虫を防潮堤に見失ふ
宮下 京子

舟虫の散りて岩場に残り潮
山能 秀子

涼やかな雀のこゑの夜明けかな
平岡千代子